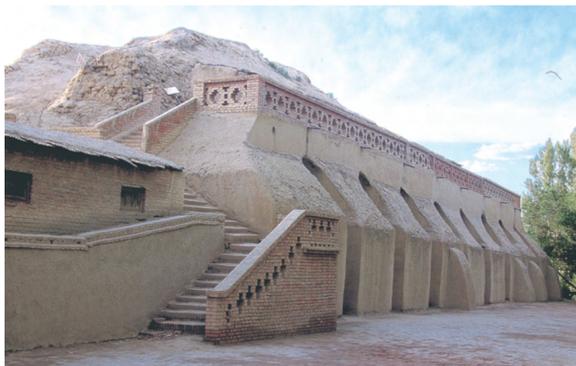




世界遺産 悠久のシルクロード

高昌故城

トルファン市郊外の火焰山南麓にある、かつての高昌国の王城の遺跡。東西1.6km、南北1.5kmの城塞都市で、日干レンガで造られている。



北庭故城遺跡

天山ウイグル王国の首都ビシュバリクの遺跡。シルクロードの草原地帯とタクラマカン砂漠周辺のオアシス地域を束ねる要衝だった。

新疆ウイグル自治区

東の終着 日本とも深いつながり

中国とカザフスタン、キルギスの3カ国が共同申請していた「シルクロード」の世界遺産登録が6月22日、カタールのドーハで開かれた国連教育科学文化機関(ユネスコ)世界遺産委員会で決まった。世界遺産登録されたシルクロードの構成要素となる遺跡とは、中国22カ所、キルギス3カ所、カザフスタン8カ所の計33カ所。洛陽や長安(現在の西安)からキルギスを経てカザフスタン南東部に至る「シルクロード天山回廊」と呼ばれる全長約8700kmの道路網沿いの地域に点在しており、国境を越えた世界遺産への包括登録という新しい手法にも注目が集まっている。ユネスコの諮問機関「国際記念物遺跡会議(イコモ)」

絹の道で人と文化が交わる

は「絹などの物の通り道だっただけでなく、人的交流や知識、信仰、技術革新などの伝達を生んだ」と評価しており、世界文化遺産として登録された。

シルクロード(絹の道)とは、中国と地中海世界の間の歴史的な交易路を指す呼称で、中国側の主な交易品が絹だったことから名づけられた。奈良の正倉院には中国やペルシャから伝来した宝物が多く保存され、唐代の東西交際の東端は日本という認識から、平城京が「シルクロードの東の終着駅」と呼ばれることもあるなど、日本の歴史・文化とも深いつながりがある。

本紙では今回、登録された世界遺産のうち、13カ所を紹介する。

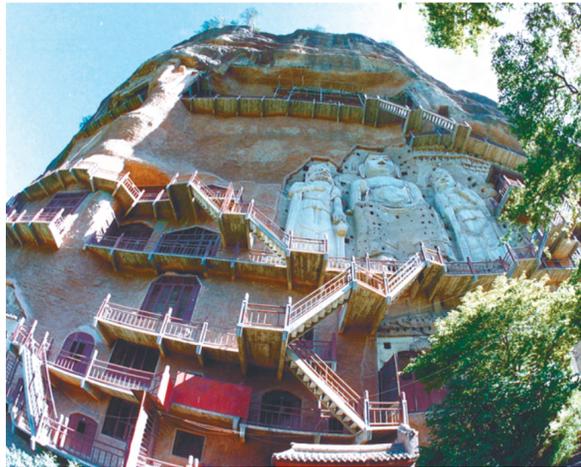
古来シルクロードの「真珠」と言われた、中国で最も早く開かれた新疆唯一の石窟。西域、亀茲石窟群の中で最大規模。



交河故城

中国に唯一残る漢代からの都市遺跡。トルファン(吐魯番)市西方11kmに位置。周囲は約30kmの断崖に囲まれている。

麦わらを積み上げた様子に似ていることから名づけられた麦積山にある石窟。敦煌莫高窟、大同雲崗石窟、洛陽龍門石窟とともに中国四大石窟に数えられる。



甘粛省

マルコポーロや玄奘三蔵で知られる西安から西へ向かう交易路



西秦、北魏、唐、明の各時代に造られた仏教石窟。内部に多くの石仏や若干の壁画が残る。



中国のシルクロード世界遺産構成要素(22カ所)

- ◎河南省
漢魏洛陽城遺跡、隋唐洛陽城定鼎門遺跡、新安漢函谷關遺跡、嶠函古道石壕段遺跡
- ◎陝西省
漢長安城未央宮遺跡、唐長安城大明宮遺跡、興教寺塔、張騫墓、大雁塔、小雁塔、彬縣大仏寺石窟
- ◎甘粛省
麦積山石窟、鎖陽城遺跡と墓群、玉門関・河倉城遺跡、懸泉置遺跡、炳靈寺石窟
- ◎新疆ウイグル自治区
高昌故城、交河故城、キジル石窟(千仏洞)、クズルガハ烽火台、スバシ仏寺遺跡、北庭故城遺跡

唐長安城大明宮遺跡

西安市に位置。唐高宗から唐代歴代の皇帝が住み、国政事務を処理した。



河南省



シルクロードが北道に通るための要衝。関所の玉門関を通して、シルクや茶葉が西域へ運ばれ、葡萄や瓜、その他果物などが西域から伝わった。

小雁塔

長安のほぼ中心に位置する高さ43.3mの塔で、薦福寺の境内に建つ。唐代高僧の義浄がインドから持ち帰った仏教の経典、仏図などを保存するために建てられた。



大雁塔

西安にある7層、64mの塔。玄奘三蔵がインドから持ち帰ったサンスクリット経典や仏像を保管するために652年に建立された。

陝西省



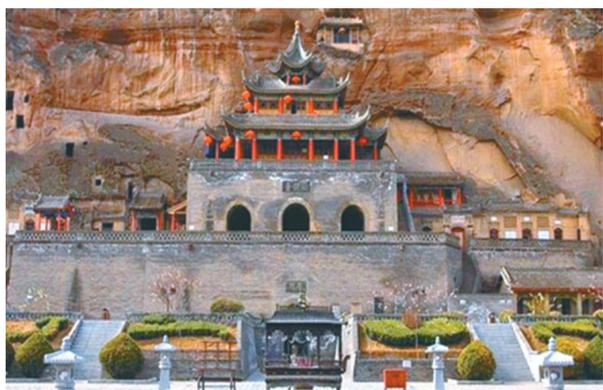
隋唐洛陽城定鼎門遺跡

隋・唐時代の城壁の南門。定鼎門遺跡、城壁遺跡、天街遺跡、里坊遺跡、水系遺跡など。



函谷関

靈寶県の北15kmに位置する中国で最も古い関所。「天下第一関」「秦函谷関」とも呼ばれる。



彬縣大仏寺石窟

大仏寺は唐の太宗李世民が628年に建立した。寺院には洞窟が合計で130個あり、仏像400体を安置する石室が446カ所、仏像が1980体もある。